

相生山緑地オアシスの森くらぶ

ニュースレター 40号

2011.12発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 9月25日(土) ... COP天百生物多様性を学ぼう / 定例活動
- 10月2日(土) ... 天百森のフォーラム・写真&スケッチ展 / 特別活動
- 10月11日(月・祝) ... アサギマダラマーキング / 特別活動
- 10月23日(土) ... 第12回どんぐり祭り / 定例活動
- 10月24日(日) ... 天百区民まつり参加 / 特別活動
- 11月14日(日) ... 巣箱の清掃&掛け替え / 特別活動
- 11月27日(土) ... 竹林の整備&竹炭用材づくり / 定例活動
- 12月25日(土) ... 正月準備&梅の剪定 / 定例活動

9月定例活動 COP天百 生物多様性を学ぼう



9月25日の定例会はCOP天百「生物多様性を学ぼう」という天白区企画のイベントに協力する形で天白エコ・アンサンブルと共に開催されました。

集いの広場・昼食時の豚汁サービス、足場を整え枯れ木を除くなどこうした裏方の準備も初体験、

これまではイベントに参加をして受ける一方のサービスから支える役割、大変いい経験をしました。

会長の挨拶・注意事項を周知して竹切りに入りました。参加家族が少なく20名ほどでしたからスタッフが家族単位でアシストする厚遇ぶり、小生もイベントスタッフを含める3名グループを指名されましたが覚束ない説明、ベテランスタッフにお任せする有様でした。



CATV社の取材があり子供たちはインタビューに応じながら竹を

切る手に力を込めている様子もほえましいものです。

その後ウッドデッキへ移動して竹炭用材作りにも全員参加、炭焼き釜の説明など同時進行はいい経験であったかと思えます。

集いの広場にもどり昼食、多人数分の豚汁は旨い、お代わりする方々が多く好評でした。ご婦人スタッフに感謝。

いい天気で日差しは強かったのですが木陰はまさに爽やかそのもの、エコ・アンサンブルの奏でるなじみ深い曲に癒されました。

後、木片に金属をねじ込んで鳥の鳴き声が出るクラフト作り、森の中で鳴らすと鳴き声で反応があるとか、そんな遊びをしている時、演奏を終えた皆さんがやっと開放されて豚汁を味わっておられるのが妙に印象に残りました。(早川)

天白森のフォーラム・写真&スケッチ展

9月27日から10月3日まで、天白区役所の2階で、天白森のフォーラム・写真&スケッチ展が開催され、その期間中の10月2日(土)にオアシスの森くらぶが、クラフト教室を行いました。(午前10時~午後3時)

参加者は、会長の大館さん、真弓さん、早川さん、塚口さんで、

午前中に会長の松ぼっくりを素材にしたエビフライのストラップ作りと、塚口さんの鉄棒をすからくり人形作りに親子連れとご婦人が一生懸命に取り組んでいました。

一方、写真&スケッチ展の作品の中には、オアシスの森を題材にしたものが沢山あり、大変



よかったですと思いました。参加の皆さま、お疲れ様。(森 勝)

アサギマダラマーキング

10月の特別活動は、海を渡る蝶、アサギマダラのマーキング大会です。今年は暑い夏が彼岸のころまで続いたせいか、10月を迎えてもフジバカマの花が蕾のまま、アサギマダラの群れは観察されず、淋しいマーキング大会となりました。結局昼過ぎまで待つ捕えた蝶は一頭のみ。それもマーキングのための測定に入ったところで、私が逃がしてしまい記録ゼロ。なごや環境大学の講座で相生山を訪れた

親子連れも阿部さんの解説を聞くのみとなり、楽しみに訪れたマーキング大会も残念なことになりました。

一方、当日フジバカマの畑の横で、冬の野菜のための畑起こしと種まきも行いました。こちらは、村田さんの熱意で開墾されたジャガイモ畑の後に、大根とかぶらの種をまき、春の萌木祭りで食の愉しみの材料となります。お楽しみに。

(大館)



▲アサギマダラの説明を受けるなごや環境大学の講座参加者の皆さん



マーキングされたアサギマダラ (昨年のものですか...)

10月定例活動

第12回どんぐり祭り

秋の恒例イベント「どんぐり祭り」は、暑くも寒くもなくほど良い天候のもと、今年も盛り上がりました！



▲祭りの全景

木に登り、伐採体験は、かきまなで場所を使



▲丸太切りに挑む我が子を前に親御さん達も力が入ります。



▲サツマイモ掘り体験も親子に大人気でした。



▲柴刈り体験は、集いの広場のすぐ脇で行い、たくさんの親子が参加しました。

▼掘ったイモは、もちろんその場で焼いて早速いただきます。



▲自分で色付けたハ事の蝶々は絶好のお土産に。

シリーズ『森の住人たち』②⑥

～ オオカマキリ (大蟻螂) その2 卵鞘 ～

—ただいまカプセルのなか—

「まるでソフトクリームのように…」
オオカマキリが産卵する場に偶然立ち会って思った。頭部を下にしてジュズダマの茎に、産卵管から淡いクリーム色の泡状物質をだす。ゆっくり、ゆっくり、円を描くようにふわふわの気泡が搾り出される。やがておなじみの変形おにぎり状の卵になった。サイズは35mm前後だろうか。時計を見ると3時間程経過していた。

オオカマキリの卵は、冬枯れの景色に馴染む薄茶色である。植物の茎に産卵することが多いオオカマキリの「カモフラージュ作戦」なのであろう。スポンジ構造は、防寒・断熱効果があり、外気温度

の変化に左右されない構造になっている。防寒に優れ、雨や雪にも耐えて一冬を越すためのものである。観察会では参加者が、お吸い物などの具財の焼麩に似ているとか、いやいやウエハースに似ているとにぎやかな会話になる。カプセルには多数の卵がぎっしり並んで、誕生する日を待っている。ただし幸運に冬を越すことができればの話である。

強敵はいつでも、どこにでもいる。たとえばカマキリの卵を食べるカマキリカツオブシムシという甲虫がいる。あるいは、シジウカラなどの野鳥が狙う。それぞれが生きてするために必死で食べ物を探す。

オオカマキリ カマキリ科
大きさ 35mm前後
分布 北海道、本州、四国、九州に分布



▲オオカマキリの卵鞘

オオカマキリの産卵を観察していて、オーダーしたソフトクリームを待つ気持ちにどこか似ていると思った。今は、ただただ多数の赤ちゃんが無事誕生することを祈る。明るい陽射しのなかで誕生するその数、約200～300個体。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

天白区民まつり参加

前日のどんぐり祭りに続いて、天白公園にて区民祭りに参加しました。うす曇りの天気、昼ごろから雨が降る予想もあったため、朝から人出が結構ありました。

例年おなじみのがりがりトンボと竹トンボなどの森さんの作品、今年初めて参加してくれた塚口さんの体操人形、小鳥の置物などどれも子供が喜びそうなものばかりで、売れ行きも好調でした。

丸太切りと焼印ペンダントが定番の森くらぶですが、丸太の確保ができず、今年は松ぼっくりのエビフライペンダントに変更しました。ペンチとはさみでできる簡単さが売り物で、小さな子供たちに結構喜ばれました。

販売手伝いの村田さんも加えて総勢4人で秋の一日を楽しみました。ブースには、天白もりのフォーラムの面々に加えて東



海学園のボランティアのお手伝いも加わり、約180名のお客様の相手をしました。（大館）

巣箱の清掃&掛け替え

11月14日、森に入るとあちらこちらからカケスの鳴き声が聞こえました。昨年はこれほどではなかったので古澤先生に尋ねてみると、他の森でも今年はカケスが多いそうです。

昨年の調査で鳥は新しい巣箱を好む傾向が分かったので、古いものは廃棄することにして、夏に作った新しい巣箱を一輪車に乗せて出発。日だまりエリアでは2つが営巣に使われていた。見晴台の上空ではハイタカ2羽が旋回するのを目撃。しばらくするとミサゴが飛来。古澤先生の望遠カメラで撮った画像には

脚に魚をつかんだ姿が写っていました。

昨年は26個かけておいたので、それらを順次点検していったのですが、木々が生い茂り、探すのに苦労しました。竹林整備に追われて雑木林に手が回っていないのを実感しました。

また、カシノナガキクイムシに枯らされたコナラも多く、枯れた木に食い込んだ巣箱を降ろすのは大変でした。今年も尾根筋の見通しの良い場所の巣箱がよく利用されていたので、谷筋のものを上方に移動しました。

調査兼清掃結果は、営巣して



子育てに使われたものが5個、ねぐらとして利用されたものが6個、巣は作ったが途中放棄されたものが4個、空巣11個でした。ヤモリ7匹にも利用されていました。今年は新たに3個追加して計29個をかけておきました。来年度の利用状況が楽しみです。

（伊藤 晶）

11月定例活動 竹林の整備 & 竹炭用材づくり



11月定例会は恒例となった竹の間伐と竹炭用端材加工です。晴天の中、20人ほどのくらぶ員の参加で盛会となりました。

午前中、北側の山桜付近と山根

口付近に分かれて竹の間伐を行いました。また午後からは切り出した竹を加工して竹炭用端材を作りました。

私は、みなさんとは別に竹炭用端材の干し場を作りました。以前炭焼き釜の横に木造の小屋があり、この横に竹炭用端材を干すスペースが設けてありました。その後放火により小屋が焼失したので、干し場は消滅してしまっただけです。

干し場がなくなってからはメープル材を井桁状に組み上げて仮設の干し場を作ったのですが、釜から若干遠く、干した端材を釜に入れるのに不便していました。

今回釜に隣接して干し場を設置

出来たので炭焼き準備が随分楽になりました。また小屋周辺がこざっぱりして景観上也良くなったと思います。

お屋には収穫したサツマイモを焼き芋を作りました。焼き芋は女性陣にはことのほか好評で、お昼休みの楽しみになっています。

小屋周辺が整備されていくことで、くらぶ員の憩いの場がより快適なものになれば嬉しいです。

さて、今回準備した端材は12月いっぱい屋外乾燥し、その後竹炭にします。今シーズンも上等な炭が焼けるよう願っています。

（村田 英）

12月定例活動 正月準備&梅の剪定



長年試行錯誤を重ねて様々な門松を作ってきましたが、昨今はオアシスの森の型が定着し、作業も手慣れてきて、1時間ほどで見事な門松が出来上がりました。

その後は残りの材料を利用して、各家庭用のミニ門松を作りました。ある会員の方は、昨年持ち帰ったミニ門松のおかげで奥様にオアシスの森での活動を評価してもらえたと笑顔で話しておられました。

今年は一般の方にも参加料をいただいてミニ門松づくりを体験してもらいました。7名の方が参加し、会員の助けを得て素敵なミニ門松を作り、喜んで帰られました。

午後は畑周りの整

備、伸び放題で危険になったトンボ池周りのカラタチの手入れ、梅の選定など、やり残していたことを片づけ、スッキリとした森にして、一年の作業を締めくくりました。

(伊藤 晶)



Schedule

【今後の活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は **集いの広場 10:00集合**

●：運営委員会

偶数月は第2土曜の午後 **相生小学校 13:30～**

奇数月は第2日曜の午前 **相生小学校 10:00～**

☆2月26日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月13日(日)午前 運営委員会

☆3月26日(土) 第13回苗木祭り

●4月9日(土)午後 運営委員会

☆4月23日(土) 総会&森の点検

以後の活動は、総会で決定します

【Eメール】

Mail address : aoiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

<http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>

★ニュースレターのカラー版 (PDFファイル) がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

Information

●●● 会員募集中! ●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局)
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【参加申し込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!